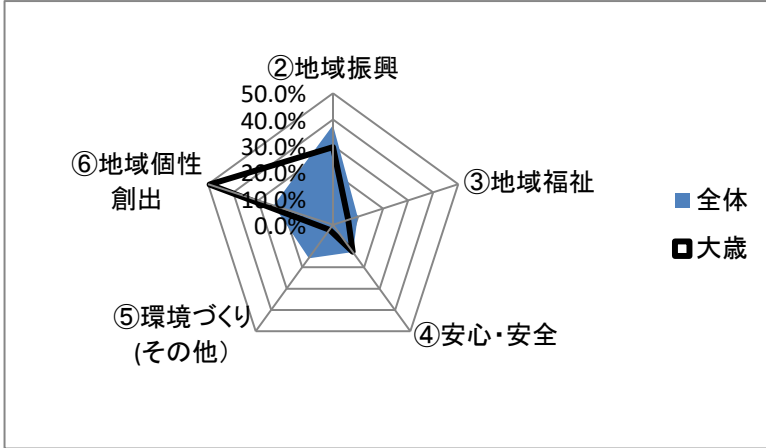


大歳まちづくり協議会 地域づくり交付金事業概要(令和3年度)

■地域の情報

地域人口	14,002人	自治会数	29
世帯数	6,797世帯	自治会加入率	64.1%

※数値は、令和4年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	11,630,000 円
交付金決算額	10,329,349 円
その他収入	50 円
交付金決算額／配分額	88.8%

各分野の決算

①協議会運営	5,505,291 円
②地域振興	922,388 円
③地域福祉	187,953 円
④安心・安全	395,090 円
⑤環境づくり(土木工事)	1,701,000 円
⑤環境づくり(その他)	74,870 円
⑥地域個性創出	1,542,807 円
決算総額	10,329,399 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

大歳地区の住民が生き生きと安心して暮らせる住みよい地域づくりを推進する。
「みんなでつろう、明るく住みよいおとしを」

■総括

第3次地域づくり計画の3年目でコロナ禍の中、事業の大半は中止せざるをえなかった。地域づくり広報誌「かわら版おとし」はモニターを募集し紙面の改善を図った。また、ホームページ、フェイスブック、ブログ、YouTubeで地域の最新情報を住民に届けた。地域づくりの担い手となる人材の育成は、大きな課題である。当地区の人口は年々増加しており、若い世代の転入者も多く、たくさんの活動を通じて担い手づくりを模索してきたが人材の発掘につながらない。通学路の交通安全対策として、一方通行や変則信号機が導入されたが渋滞の解消にはつながっていない。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長1名、事務員2名の事務局人件費及び事務費
② 地域振興	地域情報の収集と発信、あいさつ運動の推進
③ 地域福祉	高齢者支援体制の充実、子育て支援の充実、子ども会活動の活性化
④ 安心・安全	生活安全(防犯)対策の充実、交通安全対策の充実、災害安全対策の充実、見守り体制の充実
⑤ 環境づくり	環境美化活動の推進、法定外公共物等の整備
⑥ 地域個性創出	自治会内の交流促進、地域内の交流促進、住民総参加による地域の活性化、ふるさと大歳の伝承、花いっぱいの大歳づくり、交流列車おとし(大歳駅)の活用

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	自治会内の交流促進	決算額	679,256円
	目的	自治会内のふれあい事業を実施することにより地域の交流を深める。		
	実施内容	①1自治会1事業の実施促進 ②大歳地区一斉清掃の周知・支援 ③三世代交流ラジオ体操の実施支援		
	実施時期	①通年 ②10月第3日曜日 ③夏休み期間中		
	参加人数	①10自治会672人 ②26自治会2,193人 ③9自治会4,285人		
	成果	継続した関連事業の実施を促進してきたことで、自治会内での交流促進が活発化しつつある。年々取り組む自治会が増えていたが、コロナ禍で取り組む自治会が減少。		
	評価	コロナ禍で行事自体が減少する中、自治会内での交流を促進する本事業は非常に有意義であり、一定の成果を上げている。		
	今後に向けて	関連事業実施自治会の拡大を推進し、地域全域での自治会内の交流促進を図る。		
②	事業名	地域情報の収集と発信	決算額	922,388円
	目的	地域の課題や住民に有益な情報を収集・発信する。		
	実施内容	地域情報誌「まちづくりかわら版おとし」の編集と作成、全戸配布。ホームページの充実(ブログ、フェイスブック、YouTube)		
	実施時期	通年(情報誌は隔月発行)		
	参加人数	会長、部会長7名、広報委員3名		
	成果	地域住民に対して、地域の情報や地域づくり活動を周知できた。		
	評価	広報委員会が作成に携わっているが、地域づくり活動の情報収集と発信に意欲的に活動している。モニターを募集し会議で紙面改善をおこなっている。		
	今後に向けて	紙面内容に、地域住民のニーズを反映し、地域づくり活動の情報発信と、地域に密着した内容で記事を作成。住民に参画を呼びかけ、ブログやフェイスブック、YouTubeの充実を図る。		
③	事業名	史跡看板の設置	決算額	254,265円
	目的	ふるさと大歳の伝承。		
	実施内容	史跡・旧跡看板を設置し、地域のPRを行った。		
	実施時期	随時		
	参加人数			
	成果	今年度は2カ所(下湯田・和田)に設置。		
	評価	大歳地区内に史跡看板を設置することで住民や他地区から来られる方にPRできた。		
	今後に向けて	取組みを継続し、地域内の魅力ある場所を発信していく。		